

京都府漁海況情報

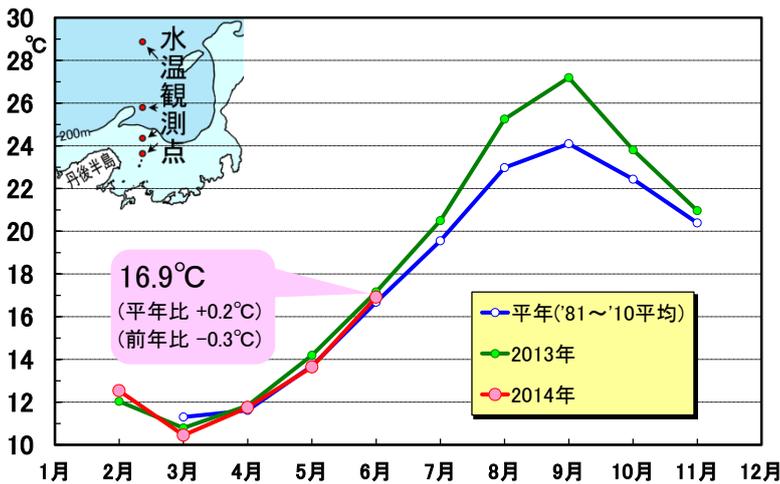
海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

【現況】

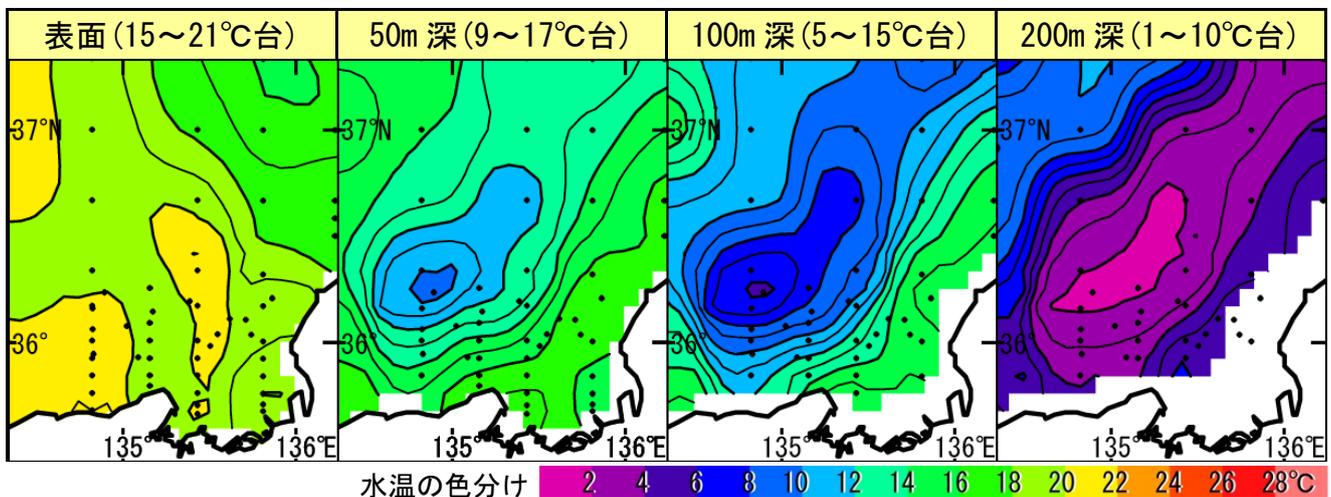
6月上旬における京都府周辺の表層水温は、平年並みで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2014年6月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁, (独)日本海区水産研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し※	「平年並み」で推移する見込み

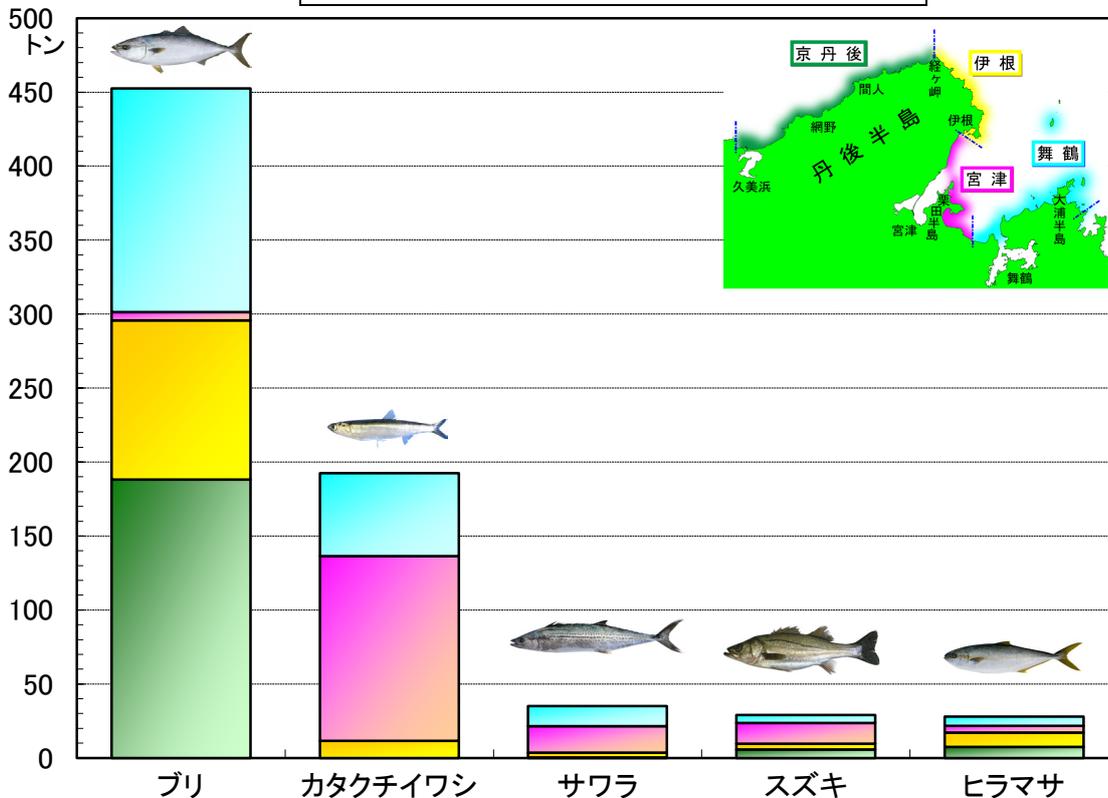
※冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすと考えられています

漁模様 ～2014年5月～

【定置網漁業】

ブリが好漁でした。全体の水揚量は、平年の8割強（前年並み）でした。

2014年5月の地域別漁獲量(上位5魚種)



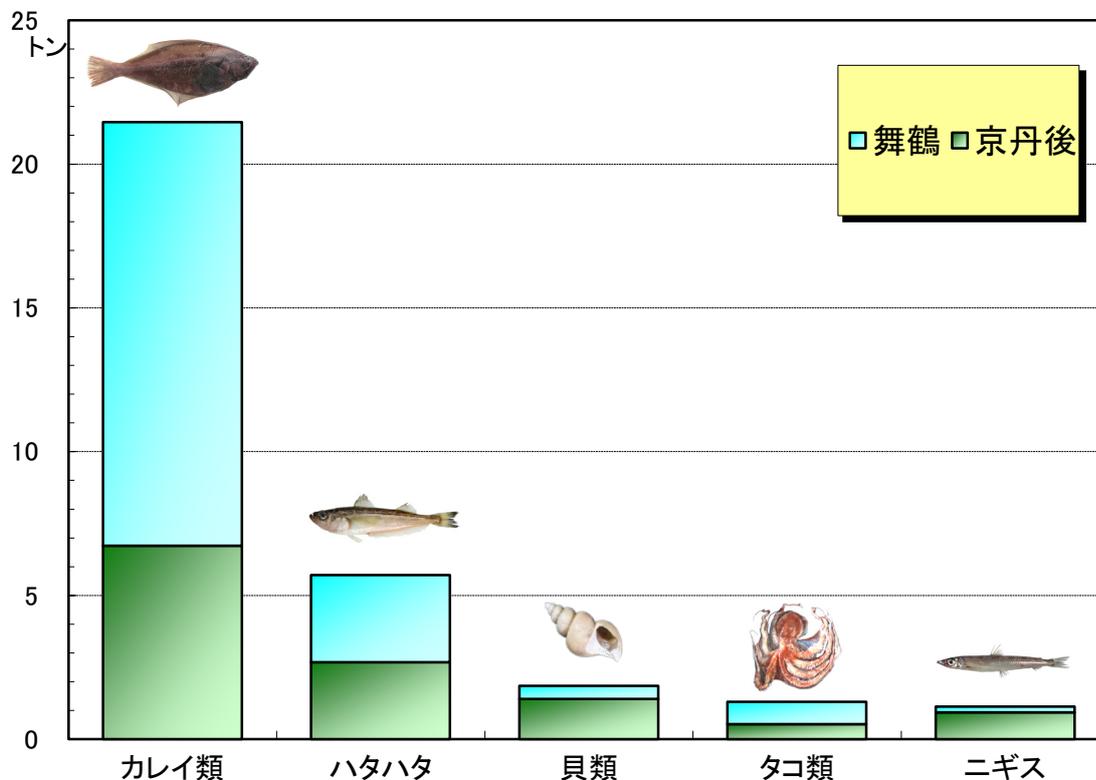
5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	452.5	148.5 (305%)	208.8 (217%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 38～42cm 級中心)が7割弱, まるご銘柄(尾さ長 55～60cm 中心)が2割強, ぶり銘柄が1割弱, はまち銘柄が若干量でした。
カタクチイワシ(たれ)	192.5	305.2 (63%)	366.6 (53%)	<カタクチイワシ> 体長 4～8cm 台の小たれ銘柄が主体でした。
サワラ	35.2	8.4 (417%)	53.9 (65%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 43～53cm 台主体)が9割強, より大型のさわら銘柄が1割弱でした。
スズキ	29.0	17.9 (162%)	12.5 (232%)	<イカ類> スルメイカ(胴長 3～11cm の伸子いか銘柄主体)が7.2トン, ケンサキイカ(白いか)が7.1トンなどでした。
ヒラマサ	28.0	7.9 (356%)	2.2 (1264%)	
マアジ	21.1	178.0 (12%)	251.4 (8%)	
イカ類	21.1	48.5 (44%)	21.5 (98%)	
マルアジ(青あじ)	11.1	26.7 (42%)	13.1 (85%)	
タイ類	10.6	8.2 (129%)	9.7 (109%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	7.5	2.2 (339%)	4.3 (177%)	
その他	51.4	95.2 (54%)	106.8 (48%)	
合計	860.2	846.8 (102%)	1051.0 (82%)	

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

全体の水揚げ量は、平年の5割強（前年並み）にとどまりました。

2014年5月の漁獲量(上位5魚種)

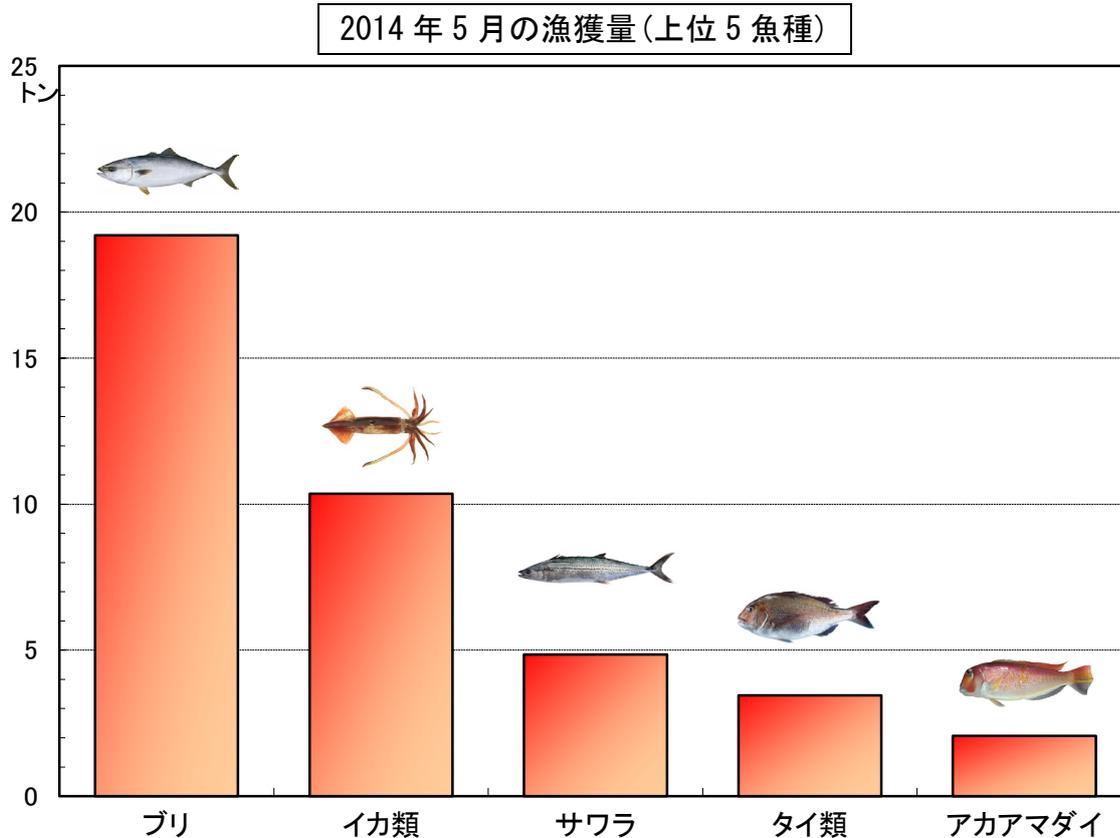


5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	21.5	20.6 (104%)	30.1 (71%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が13.0トン、ソウハチ(えてがれい)が5.8トン、ヒレグロ(黒がれい)が1.5トン、残りはヤナギムシガレイ(ささがれい)やムシガレイ(水がれい)などでした。
ハタハタ	5.7	4.8 (119%)	20.3 (28%)	
貝類	1.9	1.1 (169%)	0.9 (215%)	
タコ類	1.3	1.8 (74%)	3.0 (44%)	
ニギス(沖きす)	1.1	3.0 (37%)	3.8 (29%)	
エビ類	1.0	0.8 (132%)	0.7 (147%)	
イカ類	1.0	1.4 (73%)	2.7 (38%)	
アンコウ	0.9	0.7 (118%)	1.8 (48%)	
タラ類	0.4	1.0 (38%)	0.6 (61%)	
ヒラメ	0.3	0.2 (141%)	0.4 (75%)	
その他	3.0	2.8 (108%)	5.5 (54%)	
合計	38.0	38.1 (100%)	69.8 (54%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

前月と同様にブリが好漁でした。全体の水揚量は、平年の1.2倍（前年の1.2倍）でした。



5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	19.2	7.8 (246%)	10.4 (185%)	<ブリ> まるご銘柄が4割強、つばす銘柄とぶり銘柄がそれぞれ2割強、はまち銘柄が1割弱でした。
イカ類	10.4	17.4 (59%)	10.8 (96%)	
サワラ	4.9	0.5 (1071%)	3.4 (143%)	
タイ類	3.5	3.5 (98%)	2.8 (122%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.1	1.4 (150%)	1.7 (122%)	
メバル類(もいお)	1.3	2.0 (67%)	1.8 (72%)	<サワラ> ほとんどがさごし銘柄で、より大型のさわら銘柄は若干量でした。
ヒラマサ	0.3	0.2 (151%)	0.1 (600%)	
スズキ	0.3	0.3 (99%)	0.9 (33%)	
マアジ	0.2	1.3 (13%)	0.7 (24%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.1	—	0.1 (148%)	
その他	1.4	1.3 (106%)	3.5 (41%)	<タイ類> マダイが6割、キダイ(レンコダイ)が2割強、クロダイが1割強、チダイが若干量でした。
合計	43.6	35.8 (122%)	36.2 (120%)	

平年は過去10年平均